

校長室だより



令和6年3月11日

No.34

梅の花がおおかた終わって、さあ春めくころかと思いつつ、なかなか寒さもしつこく残っていますね。桜のつぼみも一休み。梅の後にすぐ桜とならないようにインターバルをおいているかのようなこの季節です。

先週、3月9日、第43回高等部卒業式が行われました。さあ、きょうは卒業式！と、朝、カーテンを開けたところ…雪？幸いに積もったりするまでには至らず、登校するころには雨も上がってきました。私ごとですが、大雪で車が出せず、午後ようやくたどり着いて卒業証書を受け取ったKさんや、嵐の中、びしょびしょになって登校してきたNさん…かつての教え子たちの姿が浮かんできました。そんなこともありまして…。かく言う、私も中学の卒業式は大雪の中でした。今回の卒業生は特に大きな混乱なく最後の登校をしてくれました。

そして、いよいよ卒業式。卒業生保護者の方々のほか、用務員さんはじめ学校でお世話になった職員さんやスクールバスの運転手さん、介助員さんなど多くの方々に見守られ開式です。練習とは少し違う雰囲気の中ですから、練習ではすんなり通っていたはずの花道からはずれたりすることもご愛嬌です。最後の校歌もきっちり歌うことができました。さあ、卒業証書を受け取る番です。名前を呼ばれて返事をして、花道をまっすぐ…まあ、少し曲がったり、戸惑ったりもありましたが、みんな自分の力で演壇の前まで来て、しっかり受け取ることができました。たいがい、どこかに行ってしまうたり、校長が読んでいる間に証書を奪い取ったりする人がいるのですが、今回はみんな壇の前でちゃんと受け取ってくれました。さすが高等部卒業生。以前、お世話になった先生たちや関係の方々からの祝電もたくさんいただきました。みんなが心から卒業をお祝いしてくれています。もちろん、後輩にあたる高等部1年生、2年生もです。ゆずの「タッタ」に合わせて全力のパフォーマンスを送ってくれました。歌の最後の「よーいドン！」のジャンプが先輩たちの門出にぴったりでした。それにこたえて、卒業生も森山直太朗の「さくら」の曲に合わせて、学校の思い出を語り、最後にはみんなでピンクのリボンをつけた手を振って締めくくってくれました。さよならと旅たちの決意を示すかのようなようでした。そして、高等部生徒さん全員で「旅たちの日に」を思いを込めて大合唱。で、ここに、開始時刻には間に合わなかった卒業生1名がぎりぎり間に合い、卒業証書を受け取ることができました。退場はみんな晴れがましく、堂々とした足取りでした。みんな、元気で、がんばってね。一人ひとりの横顔を見ながら、そう思わずにはいられませんね。下校時には空模様も少し穏やかになって、この子たちの旅立ちを包んでくれているようでした。

体調等の都合で式に参加できなかった生徒さんには別の日にお渡ししたいと思います。（午後、1名にお渡ししました。）

来週15日（金）には小学部・中学部の卒業式が行われます。

さくら、さくら～ 今、咲き誇る

